

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成29年度第1回 第1分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成29年9月28日（木） 午後1時30分～午後3時52分
場所	江南市役所 3階 第4委員会室
出席者	市民委員 小倉 勲夫、望月 晴夫、岩井 喜美子、林本 剛幸
	市職員 郷原 実智雄、山田 順一、石坂 育己、大岩 直文、阿部 一郎、 斉木 寿男、谷 宣夫
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり会議について 2. まちづくり評価について 3. まちづくり評価の結果について 4. その他（第2回の会議日程について）
資料	資料1 江南市まちづくり会議委員名簿（平成29年度） 資料2 まちづくり評価について 資料3 まちづくり評価【I 生活環境、産業分野】 資料4 平成29年度江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査（江南市市民満足度調査）報告書

◆ 会議結果 ◆

- ・会議の開催にあたり、市長よりあいさつがありました。

1. まちづくり会議について

- ・まちづくり会議について、行政経営課主幹より説明がありました。

2. まちづくり評価について

- ・まちづくり評価について、資料2及び4に基づき、行政経営課行政経営グループリーダーより説明がありました。

3. まちづくり評価の結果について

〔柱1〕安心・安全な地域づくり

- ・資料3に基づき、委員（危機管理室長兼防災安全課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕災害への備えが行われている

- ・地震時における江南厚生病院や尾北医師会との連携はどのようになっているのかとの質問があり、具体的な内容については次回の会議で報告するとの説明がありました。
- ・防災訓練に参加される方が固定化している傾向があるが、地域の連携が希薄になってきており、特にアパートや新興住宅が多い地域においては区にも参加されない方がいる、何らかの対策をとるべきでは、という意見があり、まずは他市町村の成功例を調査研究し、今後の対応を検討していきたいとの説明がありました。
- ・備蓄用品のうち食料について、ただ単に保存期間が長い商品を選択するのではなく、食べながら災害に

備えるローリングストックを自主防災訓練等でもっと市民に啓発していくことにより、実績値がもっと上昇するのではないかとの意見がありました。

- ・災害に対する啓発活動や講演会等に市民の参加が少なく、災害に対する心構えや関心が薄い。災害に対する意識をもっと根本的なところから改善する必要があるのではないかとの意見がありました。

〔柱2〕 消防・救急体制の充実

- ・資料3に基づき、委員（総務予防課長、消防署長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 消防・救急体制が充実している

- ・消防水利の充足率について、目標値が100%でないのはどのような理由かとの質問があり、市内をメッシュ状で把握した時に858箇所となるが、そのうち農地等で消防水利が必ずしも必要でない地域があり、722箇所が整備済みであるので84.1%であるとの説明がありました。また、小中学校のプールが消防水利に指定されている場合、公共施設の再配置の関係で今後なくなる可能性もあるので、事前に見込まれる地域に水利を整備しておくことで充足率が上がるのではないかとの意見があり、小中学校のプールが858箇所に含まれているかについては詳細を調査し、次回の会議で報告するとの説明がありました。

〔個別目標③〕 救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

- ・応急手当講習の受講者数について、小中学生に対する応急手当講習の実施時間及び講習修了証の配付について質問があり、詳細については次回の会議で報告するとの説明がありました。

〔柱3〕 快適で便利な日常生活の確保

- ・資料3に基づき、委員（市民サービス課長）より説明がありました。

〔個別目標②〕 身分等が正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている

- ・今後、混雑時や順番が前後する際の対応はどのように考えているのかとの質問があり、対応が迅速に行うことができる簡易的な証明等の交付に関しては、将来的には交付専用の窓口を設置することについても検討が必要ではないかと考えている。また順番が前後してしまうことに関しては、内容によっては順番が前後してしまうことはやむを得ないので、日頃から市民に渡す呼び出し番号札をランダムにすることで、待ち時間の長短によるクレーム等に発展していかないよう配慮しているとの説明がありました。

4. その他（第2回の会議日程について）

- ・第2回の会議日程について、次のとおり決定しました。

＜第2回＞ 10月18日（水）午前10時～